



\\同窓会広報誌が新しくなりました!!\\

県 同 窓 会

KENSO

第35号
2020.12

県同窓会ホームページがリニューアルされましたのでご覧ください。

この機会に
同窓会・
クラス会を開催
しましょう!

第43回 定期総会のご案内

2021年度総会を下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。

- 日時** 2021年5月16日(日)午後4時から
- 会場** 県立相模原高校 会議室
- 議題** 2020年度事業報告及び収支決算報告の件、他

※定期総会終了後に懇親会を行います。総会に出席される方は5月8日(土)までに、細谷(10期)まで御連絡ください。TEL 090-1211-3813

Contents

- 01 会長・校長の挨拶 / 広告掲載募集のお願い / 活動維持費納入のお願い
- 02 クラブ活動近況報告
- 03 卒業生を訪ねて
- 05 県同窓会のラジオ番組 GoGo, 県相! / 近況報告
- 06 活動維持費を納入していただいた方々 / 本部よりお知らせ
- 07 県同窓会ウェブサイトからのお知らせ / 会計報告



会長
佐藤 功岳
Sato Kougaku

困難を凌駕する県相根性

県相同窓生の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。

今般の新型コロナウイルスでお亡くなりになられた方々にお悔やみ申しあげるとともに、現在も闘病中の皆様に、心からお見舞い申し上げます。また、治療に当たっておられる医療従事者の皆様には衷心より敬意を表します。

この新型コロナウイルスは想像以上の猛威を振るいました。

そして感染は瞬間に世界を席巻し、我が母校も例に漏れず大きな影響を受け、人が集合し接触を伴う行為がことごとく制限されてしまいました。

県相入学という過酷な難関を突破し、入学早々新入生歓迎球技大会で先輩の強さを叩き込まれ、度重なるテストに音を上げ、過酷な持久走を凌いで来ました。そうした中で共通の価値観や友情が生まれてきました。

このように3年間に亘って勉学・部活に動んだ高校生活を全うした喜びを分かち合い、たまたま合う唯一の機会である卒業式が本年には状態を変えなければならなくなってしまいました。

卒業生中心となり、来賓や祝辞も無くなっただけで済みました。密着を避けることから謝恩の催しも休止になったかと想像します。なんともやるせない卒業式であったでしょう。心から同

情いたします。加えて入学式の招待状も届きませんでした。

昨年準決勝まで進んだ野球も例年の選抜競技も変更され、甲子園でも高校野球交流試合となってしまう。母校野球部も宿敵東海大相模に敗れてしまい、残念の極みです。

社会に眼を戻せば、このウイルスに対する薬もまだ製造されず各人それぞれの手洗いや、マスクという予防が最上の防御・疾病対策となっております。そのため社会活動は停滞を極め、東京オリンピックを初めとする催事は延期や中止に追い込まれております。

飲食や観光にも多大な影響を与えております。特効薬やワクチンが待たれるところとなっております。過ぎぬ嵐は無いと古来より言われております。

皆様には県相三信条の「根性」を磨いてこの悪環境を乗り越え、明日に向かって躍進して頂きたいと祈念しております。



校長
平田 智則
Hirata Tomonori

県相は今

今年にはCOVID-19の影響の中、臨時休業や分散登校、時差通学など、今まで経験したことない状況で、手探りをしながら教育活動を進めています。

苦しい時期ではありますが、今後も生徒の活動・活躍のためによりよい学校づくりを進めてまいります。

現在の県相では「学力向上進学重点校エントリー校」「理数教育推進校」の指定に加え、昨年度より「スーパーサイエンスハイスクール(SSHS)」にも取り組んでいます。大学との連携や課題研究などが十分に行えているとは言えない状況にあります。

一方でICT利活用は急速に進みました。リモートでのHRや個人面談、ビデオ授業やライブ授業、クラウドサービスによる課題の配信、生徒が自分のスマートフォンを活用する授業など、臨時休業中でもその後の学校生活でも、大いに活用され始めています。教育に新しい波が来たなと実感します。

施設ではB棟校舎が耐震工事中でありませんが、仮設のプレハブを含めて十分とはいえないICT環境や空調環境の中で、生徒と教員が力を合わせて、感染防止に努めながら授業を行っています。

また、長年の懸案であった正門前の市道の拡幅工事も併せて行います。歩道が少しでも広くなり、生徒が安心して通学できるように改良されることを期待しています。

このような状況の中ですが、今年には学校教育というものについて改めて考える機会となりました。やはり学校は「生徒の声がかかる場所」であるべきである、というあたりまえの事実を再認識しました。

友人と議論し、笑い合い、一緒に泣く、こうした「切磋琢磨」の中にこそ高校生活の醍醐味があり、高いレベルでの「文武両道」により成長を実感できることが喜びであると、心から思います。

同窓会の皆様には日頃の教育活動に対するご理解・協力に心より感謝申し上げます。

これからの県相にもいろいろな変化が訪れると思いますが、地域に根差した学び舎となれますよう、更なるご声援をいただければ幸いです。

👉 広告掲載募集のお願い

広告料1万円

現在、県相同窓会活動予算は、毎年の卒業生からの入会金と活動維持費に依存しており、非常に厳しいのが現状です。そこで、恐縮ですが、皆様に広告をお願いする次第です。何卒よろしく申し上げます。

県相同窓会広報担当

☎ 0120-10-9899(内線162) ✉ kensou@egaomax.com

👉 お世話になっています

同窓会広報誌の記事提供等同窓会活動については、平田校長先生、福田副校長先生、中川教頭先生、江藤先生をはじめ、現職の多くの先生方及び事務の方々に大変お世話になっております。誠にありがとうございます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

👉 県相同窓会活動維持費納入のお願い

■ 活動維持費 1,000円以上

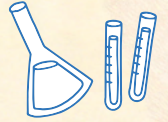
同窓会の活動費は、毎年、卒業生からの入会金や同窓生からの活動維持費により賄われています。会員数の増加により、同窓会だよりの発送等の経費が増加しています。

現在、同窓会の運営が非常に困難になっておりますので、『活動維持費1,000円以上』の納入のご協力をぜひお願いいたします。私たちの大切な母校・県相を誇る同窓会を卒業生の皆さんの温かい気持ちで助けてください。

この同窓会だよりに同封されている振込用紙を手に郵便局で納入をお願いいたします。



クラブ活動 近況報告



第33号から始まった部活動の近況報告、今回は科学研究部です。令和2年8月7日に学校を訪問し、2年生の浅井研護部長(第56期)他部員2名にインタビューしました。

Q 自己紹介をお願いします。

A 2年F組の浅井研護です。科学研究部の部長です。同じく、部員の小川俊毅です、同じく神保蒼汰です。



科学研究部 部長
浅井 研護

Q 部の歴史を教えてください。

A 平成29年度に同好会として発足、54期生として入学した1年生5人で活動を始めました。発足のきっかけは、県相がその時に理数教育推進校であるにもかかわらず、他の理数教育推進校やスーパーサイエンスハイスクールと比較して、科学系の部活が存在していなかったため、作ってみようとする時の部長が創設したと聞いています。令和1年10月に部に昇格しました。

Q 活動内容・活動日・活動時間は？

A 原則、週3回、部室がないので、教室を借り、月・水・金曜日に放課後18時まで活動しています。大会参加の準備のために、それ以外の曜日に活動することがあります。活動は大きく分けて2つあり、大会への参加と個人またはグループでテーマを決めて研究することです。ボランティア活動へも参加しています。

Q 部員数は？

A 現在1・2年生で計14人。令和2年4月に新入部員が7人入りました。理系女子が少ないのか部員は現在すべて男性です。

Q 大会とは、また結果を 発表する機会は？

A 「科学の甲子園」という県大会や6つ教科(生物・数学・物理・化学・地学・情報)ごとにペーパー試験問題が出されるオリンピックがあります。

「科学の甲子園」は通常は10月から11月に開催されます。一次予選では、チームで取り組むテーマに関わるペーパーテストがあり、その後、会場で「こういうものを作成してください」という課題が提示され、後日、二次予選において、大会会場で制限時間内に作成し、実際にその成果を発表します。

昨年度は、紙で2つの上から落とすものを作り、5mの高さから落とし、1つはなるべく早く床に落ちるように、もう1つはできる限りゆっくり落ちるものを作成し、その時間差と目標地点に押しどれだけ近くに落とせるかを競い、タイムと正確性で順位を争いました。

通常の活動では、高校文化部連盟という組織があり、1年間の活動の中で各自でテーマを決めて研究し、それをポスターにまとめて発表する機会が年1回あり、研究したことを学校内で披露する機会もあります。初代部長は、紙飛行機をどこまで遠くに飛ばすことができるかを研究しました。

Q 大会での成績は、強い学校は？

A 昨年度は「科学の甲子園」では参加校14校中第4位でした。上位2位までが上部の大会に進むことができます。1チームは6〜8人の構成で、1校で2チーム出場する学校があり、チーム数が全部で30ぐらになります。横浜翠嵐高校や中高一貫校が強いです。スーパーサイエンスハイスクールに指定されている高校はそれなりに強いです。

Q 楽しいこと、苦勞していることは？

A 楽しいことは、自由度が高いので自分の興味を突き詰められることです。苦勞していることは、科学といっても

多岐に亘るので勉強するにも、どの部分を重点的に勉強すべきなのかわからない点です。

Q 部の目標・今後の抱負は？

A 野球部や吹奏楽部と肩を並べられるような実績を作りたい。部員個人個人が設定したテーマを研究し、ゴールにたどり着く、結果を残す部員が一人でも多く出てほしい。また、今後様々なジャンルで賞を取り、科学の分野でも県相は頑張っていることを知らしめたい。

Q 同窓会への要望はありますか？

A 科学系や危険物取扱い等の資格をとることを検討しているので、OBの方で科学系の資格を持っている方がいましたら、どのように勉強したのかをお聞きたい。

科学研究部の今後の活躍を期待しています！(取材・細谷孝司)



水の中で
シャボン玉を作る実験

卒業生を訪ねて

35

今回は4名の卒業生をレポート



Report 01 原 和彦 13期生

市民の安全・安心のために



令和2年4月1日に相模原市消防団の団員1383人（R2・4・1現在）のトップである団長に就任し

た原和彦さんにインタビューしました。

■自己紹介をお願いします。

13期生の原です。現在、原モータースという工場を経営し、車検や自動車整備の仕事をしています。

■消防団に入ったきっかけと団歴について教えてください。

父が13年間、消防団活動を行っていて、私自身が地元で仕事をさせていただく以上は、消防団に入るのが当然だと思っていたので入団しました。昭和63年4月に住所地を管轄する相模原市消防団第8分団第6部（大野北地区獄之内）に入団し、団歴は今年で33年目になります。

■消防団活動をやってきてやりがいを感じたことは何ですか？

災害現場や防災訓練や地元のお祭りの警戒等において「地域住民の皆さんから」「苦勞様。ありがとうございます。」等感謝されたとき、やって良かったと感じました。それが一番のやりがいです。だから今まで続けてこれたと思います。

■現在の相模原市消防団の課題は何ですか？

団員不足が最大の課題です。極端に不足している部は定員の1/2にも満たない状況です。

■団員不足解消のために行っている活動はありますか？

不足している部の地元の自治会や後援会に対して、入団のPRを行ったり、消防団を担当する事務局の消防職員と共に、消防団員募集活動を行うことを考えています。いろいろな機会をとらえて消防団をPRし、消防団を理解していただき、入団に結び付けたいと思います。

■消防団のトップに立ったわけですが、抱負をお願いします。

ボランティアとして消防団に入団した団員が、活動しやすい「入団して良かった」と思えるような環境づくりをしていきたい。現在、中央・南・北・津久井・相模湖・藤野の6つの方面隊がありますが、6方面隊が共通認識を持ち、消防団の活性化に取り組みえています。団員それぞれに役割分担がありますので、その役割を認識し、自分は何をすることで消防団に貢献できるのかを考え、消防団員として自覚・意識を持って活動していただきたい。

（取材：細谷 孝司）

Report 02 山口正宏 19期生

学び場での自己表現



誰もが背を丸めてギター譜に見入り、思いにお気に入りの楽曲をそれ大きな声で歌う。知らずに視聴覚室の重たい鉄の扉を開いた人は不思議に思うだろう。

楽しいの？ 自分の声が聞こえなくない？

まさにカオス状態が常態。それがひとたびバンド（チーム）になるとそれぞれのパートに耳を澄まして旋律を重ね、一つの楽曲として調和して演ずるのだから面白い。個の力がなければ成立しないが、チームが纏まらなければおおよそ聞くに堪えない。それは丁度チームスポーツに通じるところがある。

学校は学びの場。知識を習得することは学生生活の主眼とすべきことだが、私は大いに仲間との経験を通して多様な価値観（個性）を持つ人と取り組む術と自己表現の仕方を県相の3年間で学んだ。振り返ると県相の仲間は自己表現に長ける人が多かったように思う。自己表現の場は、私の所属したフォークソング同好会（当時名色）にあらざる、野球やサッカーや応援団などの学内の部活であり、学外の組織での活動であれ様々だ。熱意をもって取り組む仲間の表情は皆とても「きらきら」輝いていた記憶しか思い起こせない。私は今会社役員として直接的には数百人の、間接も含めると数千人の組織を代表して、変わらずチームプレーで最大の価値の創

造を目指して活動している。ここも個の力がなければ成立しないが、調和しなければおおよそ期待する成果が得られない。

自己表現の場が会社という組織に変わったわけだ。ここでも大いに県相で学んだことが活かされている。きっと多くのチーム（会社や組織）で県相の仲間が大いに自己表現し、「きらきら」と活動してチームを牽引していることだろう。そうそう、私は今も県相の仲間とたまに集まって旋律を重ねている。生涯の仲間を得ることができたことも高校3年間の大きな財産だ。



18～21期のバンド仲間

Report 03 長島杏佳 50期生

全力で駆け抜けた日々



同窓会の皆様初めまして。県相50期生で卓球部OGの長島杏佳です。私は2016年に県相

を卒業し、青山学院大学に入学しました。今は社会人1年目となり、調剤薬局のシステムを保守・開発する部署で働いております。

県相在学中を思い返すと、週6日卓球部の練習と大会、体育祭前は1限前と昼休みのダンス練習と多忙な日々を送っておりまして。その多忙な日々は、1日たりとも辛くも思ったことはありません。その理由は、県相の仲間たちが授業・部活・行事全てに全力で取り組んでいる姿に刺激を受けたからです。仲間たちと共に県相での毎日に全力を注いだ経験は、大学でも大いに活かすことができました。

県相での経験を活かして私が大学で打ち込んだこと、それは青山学院大学陸上競技部の駅伝チームのマネージャーとしての活動です。中学生の頃に箱根駅伝を道道に見に行ったとき、目の前を通りすぎたその一瞬で見ている人を感動させる選手達の熱い走り、心を奪われ、大学では駅伝チームに関わってみたいという思いをずっと抱いていました。マネージャーとして入部してからは、「このマネージャーと一緒に戦ってよかったです」と選手に思ってもらえるようなマネージャーを目指して1つ1つの仕事に対して全力で取り組みました。大学入学前まで陸上経験がなかったため、慣れないことも多く、仕事が上手くいかなくて悩んだ時期もありましたが、選手たちからの「ありがとう」という言葉に何度か救われました。4年目でチームが箱根駅伝で優勝を成し遂げた時は、マネージャーという道を選んでよかったですと思いましたし、なにより選手たちのやり切ったという笑顔が見られて本当に嬉しかったです。

最後に在校生の皆さん。今は新型コロナウイルスの影響で、思いっきり部活や行事ができず悔しい思いをされている方もいると思

います。しかし、高校時代にこの時期を乗り越えたことは大きな自信になりますし、高校卒業後に壁にぶつかった時に大きな原動力となると思えます。様々な制限はあると思いますが、県相生として過ごせる日々を大切に、充実した高校生活を送れるよう卒業生として応援しております。



Report 04 中村律夫 14期生

高校時代の思い出



14期中村律夫です。野球部に所属していました。このころ野球部は、活躍ですね。野球部

は、1期生の頃から盛んでした。私は、中学の卒業式の翌日から練習に参加しました。野球部は、県相1期生だった当時の監督は熱心で、一生懸命練習して強豪校に善戦するというのが目標でしたので、とにかく毎日練習しました。定期試験1週間前の部活の自粛も無視して、ユニホームではなく体操着で、あくまでも自主トレとして練習していました。長期休業中も、ほとんど毎日練習しました。

その甲斐あって、3年の時には、第3シールド校になり、夏の大会でベスト16になりました。私は、野球センスが無く、大切な場面でエラーして仲間迷惑かけましたが、野球をしていたお陰で、身体は丈夫ですし、メンタルも鍛えられました。

1年は、男子クラスでした。入学直後、津の研修センターに行つて、夜、洋画の話で盛り上がりました。頭の良い仲間だと感じ、県相に入学できて良かったと思いました。

ただし、県相の授業はあまり面白くありませんでした。先生方の思想が極端すぎて、直感的に違和感を感じるものばかりだったからです。それでも、教育熱心な先生も多数いましたので、英語など、もっと勉強して、先生にもっと質問すればよかったと後悔しています。

2年の時、進路相談があり、私は、小学校の頃から私立探偵になりたかったのですが、先生に、「弁護士になりたいと思うのですが、どうしたらよいのでしょうか」と相談したところ、「弁護士になるなら中央の法科ね！でも最初は、もっと難しい大学を目指したらどう？」と言われ、「もっと難しい大学ってどこですか？」と聞くと、「東大かしら？」とのことでした。その後、いろいろ助言いただいたのですが、3年の夏までは野球の練習ばかりで、これらの助言を全く実践しませんでした。3年の夏以降、仲間と受験勉強を始めましたが、他の仲間は、その時点で、既にかなり受験対策をしていました。私は、慌てて、受験生が

一番使っている教科書・参考書を聞いて受験勉強を始めました。

中央大学に入学して、最初に思い知らされたのは、自分の勉強不足です。クラスの人た

ちは、東大や京大の受験に失敗したコンプレックスを抱いていましたが、そんな彼らでさえ、もの凄い勉強量でした。読書量や教養が半端ありませんでした。

私は、中央大学に入学できたのがラッキーだったと思知りしました。

今は、弁護士をしています。私立探偵と弁護士の仕事は全然違いますが、結果的に、弁護士の仕事は私の天職です。

自分の経験に基づき直感に従って導いた結論をいかに説得力ある理屈で相手方を説得するかという論理的作業は知的好奇心を掻き立て続けています。

二つ例を挙げます。一つは、マンション竣工後10年くらいして外壁タイルが浮いたり落ちたりする事案です。施工不良とタイル浮きの機序が未解明の難しい事案ですが、建築の勉強ができますし、建築家とも親しくなることができ、いろいろな助言をいただいています。もう一つは、交通事故直後に線維筋痛症という病を発症するという事案です。これも事故の衝撃と発症の機序が未解明の難しい事案ですが、医学の勉強ができますし、専門医とも親しくなることができ、いろいろな助言をいただいています。

最後に、進路相談にのっていただいた先生方に感謝いたします。お陰で天職につくことができました。相模原では、県相の卒業生というだけで信頼されることがあります。私は、県相を卒業して今年でちょうど40年ですが、まだまだ体力はあります。これからも、何らかの形で相模原市に貢献できれば本当に幸せな人生だったと振り返ることができると思っています。

県相同窓会のラジオ番組 **Go,Go,県相!**

みなさん、
ぜひ聴いて
下さい!



放送局 FM HOT 839 (83.9MHz)

放送日 毎月第2木曜日 午後7時～7時30分/第3木曜日 午前10時30分～11時(再放送)/第4火曜日 午後11時～11時30分(再々放送)

県相同窓会では、ラジオ番組「Go,Go,県相!」(シーズン10)を放送中です。放送は毎月1回、毎回、県相卒業生や現役生をゲストに迎え、高校時代の思い出や現在の活躍の様子をお話いただいています。

この1年間にご出演いただいたのは、現役の野球部の皆さん(主将の坂手裕太さん、投手の天池空さん、捕手の風間龍斗さん、マネージャーの有賀笑花さん)、足立博紀さん(30期)、和泉大樹さん(30期)、宮田大悟さん(24期)、高木和己さん(24期)、大沢信一郎さん(13期)、阿部真由美さん(15期)、原和彦さん(13期)、高橋賢次さん(37期)、長島杏佳さん(50期)、また、新型コロナウイルスの影響で収録が出来なかった期間中は、反響の大きかった野球部監督の佐相眞澄先生、恩師である体育の齋藤誠二先生、現役の吹奏楽部の皆さんの回を再放送でお届けしました。

ゲストの方に「県相生でよかったことは?」と伺うと、ほぼ全員

の方が、仕事などで会った方が「県相生」だと分かったと、たとえ年齢が離れていたとしても非常に親近感が湧く!とおっしゃいます。(これは「県相生あるある」かもしれませんね。)

番組後半は、同窓会役員が、同窓会の活動状況などをお知らせしています。番組を担当しているのは、寺田博美(28期)、染谷耕平(29期)、舟生俊博(24期)、南篤史(33期)です。番組を担当するようになって丸2年。最近では、すっかり収録にも慣れて、お知らせだけでなく、身の回りの出来事を話したり、時にはぼやいてみたり。ぜひ、「Go,Go,県相!」をお聴きください。
※FM HOT 839の放送は、公式アプリを使ってスマートフォンでもお聴きいただけます。

FM HOT 839MHz
公式アプリのダウンロードはこちらから

※放送した番組は同窓会ホームページからもお聴きいただけます
※ゲストコーナーにご出演いただける方をご紹介ください。(自薦他薦問わず)



近況報告 | 平成31年度の活動維持費をお送りくださった方の通信欄から同窓生の近況報告を掲載しております。

期	組	氏名	旧名	近況報告
1	C	伊藤 裕		子供3人、孫4人、ひ孫1人、全て女の子です。何とか元気です。
1	D	新藤 信六		昨年3月千葉市より西東京市に転居しました。現在も神田勤務継続中。
1	E	磯部 文保		転居して1年、息を吸ったり吐いたりして生きています。
1	E	大里 成人		元気です。
2	F	山本 邦裕		健康第一で合気道・カーリング・ゲートボール・バウンドテニスを楽しみながら指導しています。
3	B	澤田 孝一		料理のレパートリーも増え、のんびりと主夫しています。県相野球部の活躍応援しています。(ガンバレ)
3	E	久保田一夫		リニューアルされた同窓会ホームページを懐かしく、楽しく見えています。
3	E	遠山 正紀		会報が新聞から雑誌スタイルに変わり、読みやすくなりました。私は、ソフトテニスのシニア大会と趣味の街歩きを頑張っています。
4	A	山本 宏員		2020年は東京オリンピックのボランティアです。(フィールドキャスト)
4	D	坂本 節子	吉永	会報いつも楽しく読ませていただいております。長く仕事を続け、ようやく自分の時間を持つようになりました。元気で過ごせることの日々に感謝です。会の発展、心よりお祈り申し上げます。
5	F	池田 弘一		毎年の同窓会だよりを楽しみにしております。誌面が新しくなりビックリ! 活動して下さいる方々に感謝です。
5	F	翁長 誠		元気にやっています。
6	G	小川 喜平		昨年春より、相模湖商工会長となりました。厳しい状況の中、地域の活性化の為に微力ながら動いています。
7	C	古戸のぶ子	窪田	昨年9月末に転居しました。
8	C	佐藤 陽一		老後に向けての自宅の大規模リフォーム完了。スローライフにGO!
8	G	内田 正巳		夏の高校野球感動致しました。今年関連会社に天下りしましたが、まだまだ現役に頑張っています。
9	A	山口 正人		元気です!! 現役がんばれ!
11	A	金子 伸司		警察学校長を最後に、警視庁を退職しました。今はボーッと生きています。
11	G	岡村 義雄		国内では東北の夏祭り・初めての四国、海外ではトルコ・南部アフリカ・ノルウェー等に旅行することができました。
11	G	長内 裕子	松本	歯科医師として地元を根をはって働いています。
12	D	黒崎由美子		野球部、ベスト4進出おめでとうございます。そして、ありがとうございます。浜スタまで応援に行きました。元マネージャーとして、涙が出るほどうれしかった。
12	D	堤 明彦		とうとう還暦を過ぎてしまいました。県相を卒業して40年以上経ったんですネ。懐かしい同期のみなさんお元気ですか?
12	D	吉水 哲哉		東京都六郷在住。市内富士見に家は残っています。
14	C	大槻 泰公		40年前の2強の横浜とY校に勝った野球部!感動しました。
14	C	高田 英治		先生を囲む会を開いたり、忘年会や火花大会を開いたり、楽しく集まっています。
15	A	小畑 昭子	樋口	この秋、銀婚式を迎えました。夏の野球はテレビに釘付になりました。
16	G	露崎 浩子		些少です。インフルエンザにも負けず、元気に過ごしております。授業に集中できる環境etcづくりにお役立て下さい。
17	C	尾之上直美		ハンドボール部創部50周年を機会にして、繋がりが広がりました。
20	F	露崎 淳		長野県に来て32年になります。家族4人で暮らしています。気が付けば子供が大学受験です。
21	錦の会			有志12名で錦パーティを楽しみました。材料費のお釣りを寄付します。
22	A	長縄 真吾		転勤で2018年より神戸に単身赴任中です。
22	H	田中 利明		三姉妹の父として、公務員を続けています。
25	H	武田 史江		トライアスロンははじめました。
29	B	永保 俊伸		相模原商工会議所青年部に入部しました。会長は同期の染谷君!県相生さすがです。
29	D	染谷 耕平		地元で司法書士をしながら、商工会議所青年部や同窓会役員として汗を流しています。楽しいですよ。
34	E	斎藤 仁美	溝口	4月から息子が小学生です。
39	B	瀬永 雄一		44期卒業のビーも元気です。
49	E	渡邊 龍海		慶応義塾大学大学院1年生 高分子化学教室在席。



県相同窓会ウェブサイトからのお知らせ

2019年4月1日より同窓会のホームページ ウェブサイトがリニューアルされ、約1年半が経過しましたが、お陰様で10月までの総訪問者数が14,000人を超え、多くの会員の皆様より大変ご好評をいただいております。

しかし、まだまだ新しいホームページをご覧になられていない方やホームページがあることさえご存じのない方が多くいらっ

しゃるようです。そこで、同窓会広報誌の紙面にて再度ご案内いたしますので、是非、Google等の検索画面で「県相同窓会」と入力して「検索」ボタンを押してからご覧いただくか、下記のURLアドレスを直接、パソコン・スマホ・タブレットなどへ入力してから「お気に入り」に登録して、毎月定期的にご覧いただきたくお願いいたします。

新ホームページアドレス：https://kenso-dosokai.net/

- スマホ・タブレットに対応**
スマホやタブレットに対応したモバイルフレンドリーなホームページに生まれ変わり、トップページからすべてのコンテンツが探し易くなりました。
- セキュリティの強化**
プライバシーポリシーにも配慮し、SSL化により改ざんや盗聴防止などのセキュリティも強化しております。
- 楽しめる様々な情報の掲載**
卒業後の会員皆様の動向やご活躍状況、同期会・クラス会などの開催案内や報告など、そして学校関連の最新情報等々が得られるサイトとして、見て楽しい聞いて楽しいホームページを目指してリニューアルいたしました。

📱 新ホームページのトップページイメージ

そして、同窓会の活動や会員皆様の活躍を知る場として、情報交換・情報発信の場としても、有効活用していただきたいと考えておりますので、是非、ホームページへのご意見、ご感想、掲載依頼などを「お問い合わせフォーム」よりお知らせください。今後も同窓生の皆様の素敵なコミュニケーションの場としてご利用頂けますように、皆様のご意見を参考にしてより良いHPを作って参ります。



スマホ画面



パソコン画面

👉 同窓会本部 ホームページ担当部門からのお願い

県相同窓会のホームページは、オープンソースで提供されている初心者でも簡単にWEBサイトを作ることのできる人気ソフト「WordPress」を使って作成しています。そこで、ホームページの担当スタッフとして理事をやってみたく興味を持たれた方を募集

しております。ホームページの記事作成・維持管理に興味のある方でしたら、どなたでも歓迎いたします。もちろん、HTML等を駆使してWEB作成の経験がある方なら大歓迎です。是非お待ち申し上げますのでご一報をお願いいたします。

県相同窓会会計報告

令和2年6月21日(日)に第42回定期総会が開催され、平成31年度決算報告、及び令和2年度予算(案)は承認されましたのでここにご報告いたします。

平成31年度 一般会計決算書 自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	科目	予算額	決算額	差異士
	収入の部			
	入会金	2,450,000	2,220,000	△ 230,000
	活動維持費	600,000	778,000	178,000
	広告料	50,000	0	△ 50,000
	寄付金	0	24,000	24,000
	受取利息	500	37	△ 463
	その他	0	0	0
	前年度繰越金	985,455	4,038,833	3,053,378
	収入合計	4,085,955	7,060,870	2,974,915
支出の部				
	広報活動費	2,000,000	1,793,140	△ 206,860
	総会費	30,000	22,940	△ 7,060
	事業活動費	150,000	186,360	36,360
	記念品費	170,000	131,040	△ 38,960
	渉外費	200,000	567,000	367,000
	会議費	10,000	33,110	23,110
	名簿・HP維持費	1,000,000	1,629,072	629,072
	事務費	20,000	8,640	△ 11,360
	通信費	40,000	40,735	735
	部活動派遣基金	0	0	0
	周年事業積立金	0	0	0
	その他	0	0	0
	予備費	435,955	0	△ 435,955
	雑費	30,000	0	△ 30,000
	次期繰越金	0	2,648,833	2,648,833
	支出合計	4,085,955	7,060,870	2,974,915

令和2年度 一般会計予算 自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	科目	本年度予算額	前年度予算額	差異士
	収入の部			
	入会金	2,300,000	2,450,000	△ 150,000
	活動維持費	600,000	600,000	0
	広告料	50,000	50,000	0
	寄付金	0	0	0
	受取利息	500	500	0
	雑収入	0	0	0
	前年度繰越金	2,648,833	985,455	1,663,378
	収入合計	5,599,333	4,085,955	1,513,378
支出の部				
	広報活動費	2,000,000	2,000,000	0
	総会費	30,000	30,000	0
	事業活動費	500,000	150,000	350,000
	記念品費	170,000	170,000	0
	渉外費	800,000	200,000	600,000
	会議費	10,000	10,000	0
	名簿・HP維持費	1,000,000	1,000,000	0
	事務費	20,000	20,000	0
	通信費	40,000	40,000	0
	部活動派遣基金	0	0	0
	周年事業積立金	0	0	0
	予備費	999,333	435,955	563,378
	雑費	30,000	30,000	0
	次期繰越金	0	0	0
	支出合計	5,599,333	4,085,955	1,513,378